

# 手をたずさえて

## “富中PRIDE”～自信と誇り～

- 自ら学ぶ生徒
- 正しく行動する生徒
- 健康でたくましい生徒



平成30年9月11日(火)発行  
【発行責任者】郡山市立富田中学校長 熊坂 洋

## 誇り高き行動に大きな拍手！

## 郡山北警察書より感謝状贈呈

野球部5名の生徒が幼児を保護したことは、学校だより No.21やホームページ等でお知らせしたとおりですが、この善行に対して、9月4日(火)に郡山北警察の山本裕孝署長が来校され、5名の生徒への感謝状贈呈式が本校校長室にて行われました。

「一歩間違えば大変な状況になるところでしたし、北警察署の署員を総動員し捜索しなければならない事案でした。5名の生徒さんたちの判断と行動には本当に感謝します。」

贈呈式の前に山本署長から私にこのような話がありました。

生徒一人一人に感謝状が手渡され、署長から称賛の言葉をいただきました。野球部顧問の諸越先生も同席し、5名の生徒達の勇姿を讃えました。

『富中PRIDE』…この本校の学校ローガンを体現してくれた生徒達に大きな拍手をおくりたいと思います。贈呈式は新聞社の取材も受け、福島民報と福島民友の9月7日の朝刊に大きく掲載されました。右下の記事は福島民報のものです。



## PTA活動へのご協力に感謝いたします！

■ 9月2日(日)には第2回PTA奉仕作業が行われました。あいにくの雨模様でしたが、多くの保護者の方々のご参加を得て、トイレ掃除や窓ふき等に取り組んでいただきました。きれいな環境で教育活動ができること、うれしく思います。早朝からのご協力に感謝申し上げます。

■ 9月8日(土)にビッグアイで開催されました「北ブロック研修会」では、教養委員会や本部役員の方々に出席していただきました。

演題『情報化社会の中で親から子へ伝えられること』の武蔵野大学佐藤教授の講演は、まさに喫緊の教育問題であり、様々な実例を知ることができました。貴重な休日の中での研修会へのご参加ありがとうございました。



## 富田中の野球部員

## 5人に感謝状 郡山北署

## 迷子の幼児を救護



感謝状贈呈式に臨んだ(左2人目から)尾辻、竹内、木村、高橋、雨宮さん

車道で迷子になっていた5歳児を救護したとして、郡山北署は野球部員5人に感謝状を贈った。

表彰を受けたのは、二年生の尾辻晴さん、竹内悠斗さん、一年生の高橋直生さん、木村亮介さん、雨宮幹太さん。五人は八月二十五日午後三時ごろ、部活動を終えて帰宅する際、市内富田町東三丁目の道路で男の子を発見し救助した。家族から捜索願が出されていた。自宅の場所がわからなくなってしまう様子だったという。生徒たちは近くの富田交番に連れて行った。男の子は近くに住んでいて、無事、親元に渡された。発見現場は交通量が多く、一歩間違えば、大事故につながりかねない危険な状況だった。

感謝状贈呈式は同校で行われた。山本裕孝署長が生徒一人一人に感謝状を手渡し「心から感謝します」と述べた。熊坂洋校長、野球部顧問の諸越正直教諭が立ち会った。

男の子をおんぶや抱っこで交番まで運んだ尾辻さんは「三歳の弟がいる優しいお兄さん。かわいがっている弟の姿も重なり優しい行動につながった。野球部は毎朝、昇降口の清掃や冬場の雪かきといった活動に取り組んでいる。熊坂校長は「生徒を誇りに思う。今後も学校の模範となっていきたい」とたえまなく、一歩間違え

# 2学期は様々な行事が目白押しです！

## 3年高校説明会

9月5日(水)・6日(木)の2日間にわたって3年生を対象とした「高校説明会」が行われました。市内12の高校の校長先生等が講師として来校され、それぞれの話を聴くことにより、生徒は自己の進路選択の参考にすることができたと思います。蒸し暑い中でしたが、生徒達は真剣に話に聞き入っていました。多くの保護者の方々も来校されました。



私は、今回の高校説明会を終えて、ますます自分の志望校に行きたいという思いが強くなりました。私の志望校では、他の高校よりも難関大学に進学しやすいということが分かりました。私には目標の大学があるので、その大学に入るためにも、志望校合格に向けて今までよりもっと努力したいです。また、その説明の中でとても歴史ある建物の写真を見ました。オシャレな外見のその建物にいつか生徒として入りたいと強く思いました。自分の志望校だけでなく、他の高校の説明でもそれぞれの特徴を知ることができました。いろいろな高校と比較した上で、自分が一番行きたいところへ余裕をもって行けるようにもっと勉強に励みたいです。(赤沼みどり)

## 2年自然体験学習

9月6日(木)、2年生は裏磐梯国民休暇村で「自然体験学習(芋煮会)」を実施しました。何よりも天気にも恵まれ、各班で工夫、協力し合いながらおいしい料理をつくり食することができました。生徒達も楽しみにしていた行事で、初秋の裏磐梯を十二分に満喫することができた一日となりました。



今回は、2回目の自然体験学習で、前回(1年生の時)よりもスムーズに準備、片付けをすることができました。一番楽しかったのは、みんなでつくった料理をみんなで食べたことです。料理は、焼き肉、コーンポタージュ、チョコフォンデュをつくりました。大変だったのは、片付けのときにチョコが固まってしまって取りにくかったことです。班のみんなと協力して料理をつくり、片付けたり、他の学級の人とも遊んだりして、すごく楽しかったです。いい一日を過ごすことができました。(佐久間あかり)

## 1年郷土を学ぶ体験学習

9月6日(木)、1年生は「郷土を学ぶ体験学習」を行いました。日大工学部、ふれあい科学館、郡山市立美術館を巡るAコースと、日大工学部、大安場古墳公園、ふれあい科学館を巡るBコースに分かれての実施でした。特に今回は日大工学部において、様々な研究室に分かれ、環境保全や情報科学などの専門的な技術を体験的に学ぶことができました。我郷土郡山には、数多くの貴重な歴史や文化、そして先進技術などが存在しているということを再認識するとともに、郷土郡山を誇りに思える、そんな学習ができました。



私は、今回の体験学習で印象に残ったことがあります。それは日大工学部での体験です。私達K班では、汚水を水道から出るきれいな水にするという実験をしました。約30mlの汚水を試験管に入れ、その中に薬品をどれくらい入れればよいのか、自分で1ml、3ml、5mlの中から選びました。私は薬品を多く入れればよいと思い、3mlを入れましたが、思うようにいかず汚水のままでした。結果は、1mlを入れるのが正解でした。「汚水の中に-が入っていて、薬品の中に+が入っています。+と-は引きあうので汚れがくっつきやすくなります。しかし薬品を入れすぎると+だけになってしまい汚れがとれないよ」との説明がありました。私はこれを聞き「なるほど」と考えを改めさせられました。薬品の混ぜ方もあり、ずっと激しく混ぜていると、汚れたままになるそうです。正しい混ぜ方は最初は速く混ぜ、だんだん遅くするという混ぜ方でした。蛇口をひねれば当たり前に出てくる水は、実験でやったような作業を機械がやると知ることができてよかったです。「水を無駄に使わないようにしましょう」と思いました。(宗像真央)



2学期はこれからたくさんの行事があります。ただやり過ごすのではなく、ひとつひとつの行事や活動の意味・意義をよく考え、次の行動や生活・学習につなげていくことがとても大切ですね。